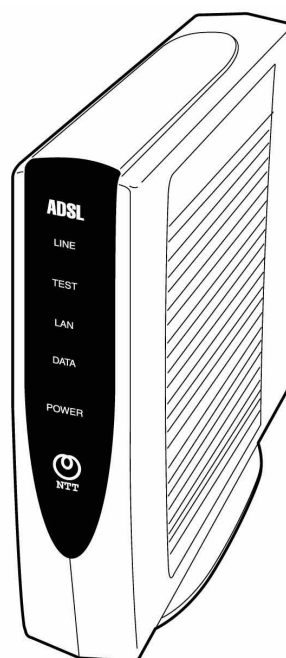


# ADSLモデム-MN

ファームウェアバージョンアップ手順書 (Macintosh® 編)

ファームウェアバージョンアップを行う前に、本書をよくお読みのうえ、内容を理解してからバージョンアップを行ってください。



## はじめに

本書では、ADSL モデム-MN のファームウェアバージョンアップ手順について説明します。

### 【ファームウェアバージョンアップ手順】

ADSL モデム-MN ファームウェアのバージョンアップは次のような手順で行います。

バージョンアップツールのダウンロード	バージョンアップツールのファイル (ModemMN_86053.hqx) をホームページからダウンロードします。ファイルは hqx 形式ですので、デコーダツールで復元・解凍して使用します。
パソコンのモードの切り替え [MacOS X の場合のみ]	バージョンアップツールを実行するために、MacOS X の場合は、モードを Classic に切り替えます。
パソコンの TCP/IP 設定	パソコンのネットワークの設定をします。
バージョンアップツールの実行	ダウンロードしたバージョンアップツールをパソコンで実行します。
バージョン確認	ADSL-モデム-MN にアクセスし、バージョンアップされたことを確認します。
パソコンのモードの切り替え(戻し) [MacOS X の場合のみ]	MacOS X の場合は、モードを Classic から OS X に切り替えます(戻します)。

### 【ファームウェアバージョンアップ時のご注意】

- 当社は、本ソフトウェア製品の仕様または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません)に関して一切の責任を負いません。たとえ、当社がこのような損害の可能性について知らされていても同様です。
- ダウンロードしたファイルは hqx 形式のファイルです。hqx をデコード可能なユーティリティソフトウェアで復元・解凍してご使用ください。
- バージョンアップする時に、ADSL 回線の電話コードを外す必要はありません。
- バージョンアップ開始後、完了の表示が出るまで絶対に装置本体の電源を落とさないでください。途中で電源を落とすと装置本体のファームウェアが破損し、復旧不可能な状態となる場合があります。
- Macintosh®用バージョンアップツールは、Classic モードのみのサポートとなります。バージョンアップツールは、必ず Classic モードに切り替え後、実行してください。

・Macintosh® は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

・Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

## ADSL モデム-MN ファームウェアバージョンアップ手順 (Macintosh®編)

### (1) パソコンのモードの切り替え [MacOS X の場合のみ]

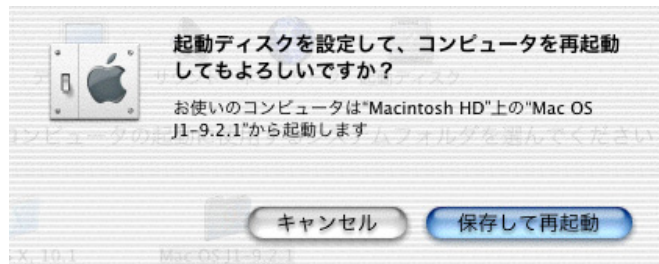
バージョンアップツールはClassicモードのみのサポートとなっています。そのため、MacOS Xをご使用の場合は、Classicモードに切り替えます。Mac OS 9.X、Mac OS 8.Xの場合は、本手順は必要有りません。

[アップル] [システム環境設定]を選択し、  
[起動ディスク]アイコンをクリックします。

MacOSJ1-9.Xを選択して、[再起動]ボタンをクリックします。

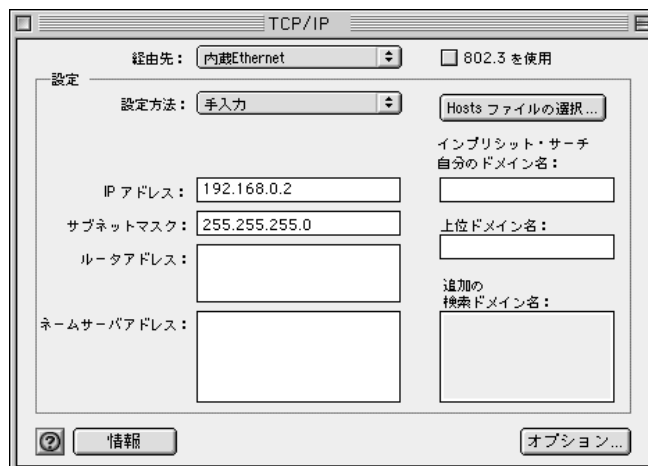
OSのバージョンによっては[再起動]ボタンが表示されません。その場合はMacOSJ1-9.Xを選択後、[起動ディスク]の画面をそのまま閉じて、[アップル] [再起動]を選択します。

[保存して再起動]ボタンをクリックします。

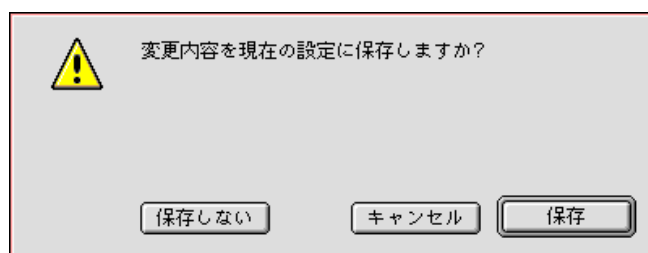


## (2) パソコンの TCP/IP 設定

「アップル」 [コントロールパネル]  
[TCP/IP]をクリックします。  
経由先 : 内蔵 Ethernet  
設定方法 : 手入力  
IP アドレス : 192.168.0.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
を入力して、閉じます。



[保存]をクリックします。

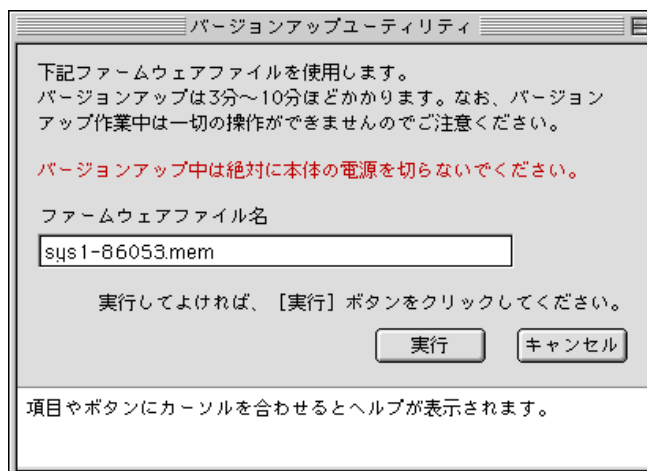


### (3) バージョンアップツールの実行

ダウンロードしたファイルを解凍(デコード)ツールで解凍すると、Versionup Tool フォルダが作成されます。そのフォルダ内のプログラムファイル(VupTool)を実行すると、バージョンアップユーティリティが起動します。

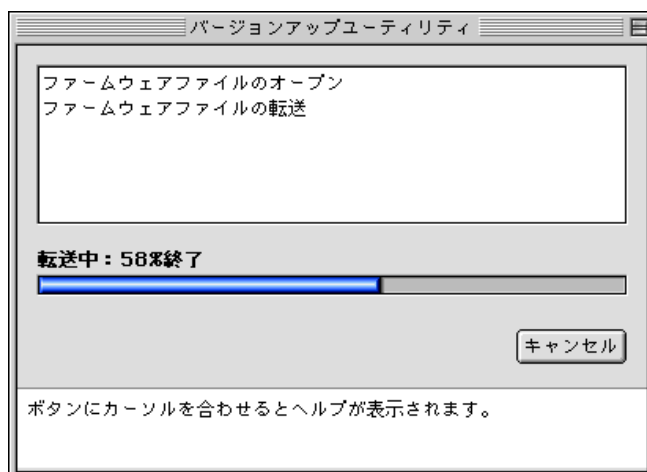
[実行]ボタンをクリックします。

**[注意!]**  
ファームウェアファイル名は変更しないでください。

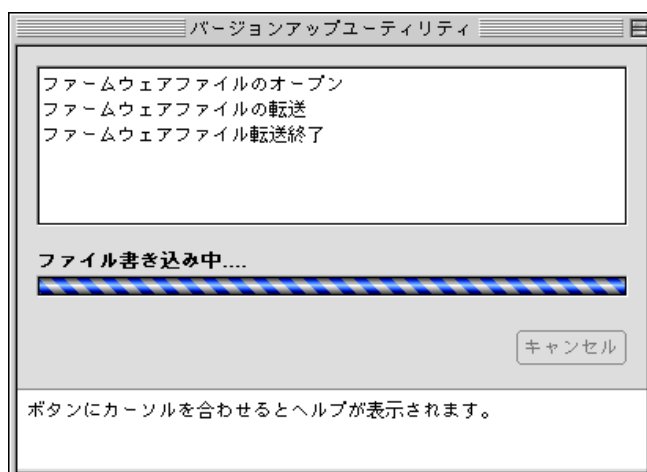


バージョンアップが開始されます。

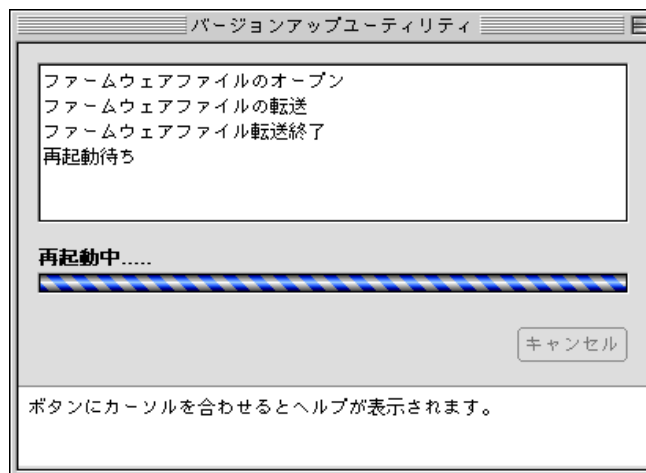
**[注意!]**  
バージョンアップ開始後、完了の表示が出るまで絶対に装置本体の電源を落とさないでください。



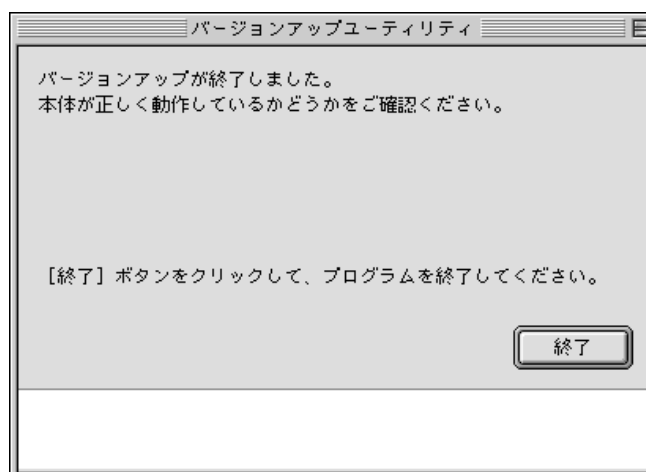
ファームウェアの転送が終わると、ファームウェアの書き換えが行われ、バーグラフが右いっぱいまできたままの状態が30秒~1分程度続きます。



ファームウェアの書き換えが完了すると、自動的に装置を再起動します。再起動がかかると、装置本体のLINE ランプが一旦消灯します。LINE ランプが点滅開始すれば再起動完了です。



[終了] ボタンをクリックして、バージョンアップを完了します。



#### (4) バージョン確認

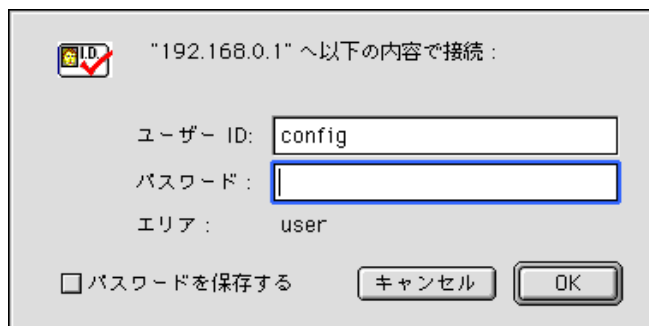
Web ブラウザで URL(アドレス)を  
http://192.168.0.1/ と指定して、本装置にア  
クセスします。



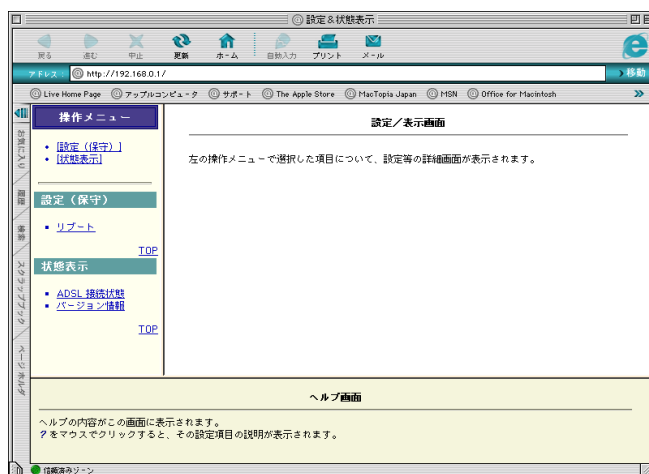
ログイン名(ユーザ ID)とパスワードを要求され  
るので、

ログイン名(ユーザ ID) : config  
パスワード : (無し)

で[OK]ボタンをクリックします。



本装置の「設定 / 表示画面」が表示されます。

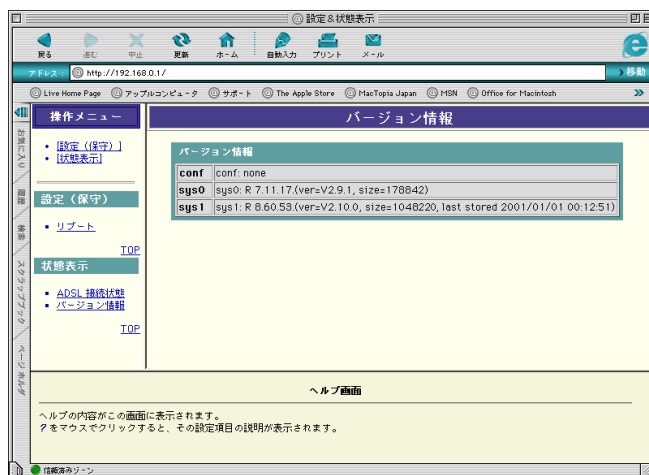


Web ブラウザで、操作メニューの「バージョン  
情報」をクリックします。「sys1」の欄が  
「**sys1:R 8.60.53**」

となっているのを確認すれば、バージョンア  
ップ作業は完了です。

[注意]

sys1 バージョン情報の last stored の後に日付・  
時刻が表示されますが、この日付・時刻情報は  
現在時刻を表示しているものではありません。  
本装置は時計機能を有しておりますが、時刻設  
定は行えません。本装置起動時を 2001 年 1  
月 1 日 00:00 として、動作を開始し、バージョン  
アップ完了された日付・時刻が、last stored の  
後に記録されます。



## (5) パソコンのモードの切り替え(戻し) [MacOS X の場合のみ]

OS が MacOS X の場合は、Classic に切り替えたモードを OS X に戻します。

[アップル] [コントロールパネル] [起動ディスク]を選択します。

Macintosh HD の左側の ▶ をクリックします。



バージョンが Mac OS X 10.X になっている Macintosh HD:System を選択して、[再起動] ボタンをクリックします。



パーティションを区切って、Mac OS X をインストールしたなど、OS のインストール方法によっては画面が異なる場合もあります。その場合、バージョンが Mac OS X 10.X となっている System を選択して、[再起動] ボタンをクリックします。

右例の場合は Mac OS X の左側の ▶ を選択後、Mac OS X System を選択します。

